

## 第 25 期 第 4 四半期報告書

(平成 27 年 10 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日まで)

会社名(定款上の商号) 株式会社ミック経済研究所  
 英文名(英文商号) MIC RESEARCH INSTITUTE LTD.  
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 有賀 章  
 本店の所在の場所 東京都港区芝四丁目7番8号  
 芝サンエスワカマツビル 10階  
 電 話 番 号 03-5443-2991  
 連 絡 者 取締役総務部次長 村井 則道

## I 四半期の業績

## (1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別		第 25 期 第 3 四半期 H27. 7. 1~9. 30	第 25 期 第 4 四半期 H27. 10. 1~12. 31	当期累計 H27. 1. 1~12. 31	前年同期累計 H26. 1. 1~12. 31
	第 25 期 第 1 四半期 H27. 1. 1~3. 31	第 25 期 第 2 四半期 H27. 4. 1~6. 30				
売 上 高	24,197	17,249	23,189	22,898	87,535	104,268
売 上 原 価	15,661	15,466	16,922	14,425	62,474	74,422
売 上 総 利 益	8,535	1,782	6,267	8,476	25,060	29,845
販売費及び一般管理費	6,457	6,209	6,209	5,347	24,222	25,283
営業利益又は損失(△)	2,078	△4,427	57	3,129	837	4,562
営業外収益	9	0	6	0	16	39
営業外費用	—	—	—	29	29	701
経常利益又は損失(△)	2,087	△4,427	64	3,100	824	3,900
特別利益	—	—	—	—	—	20
特別損失	—	—	—	—	—	516
税引前四半期(当期)純利益	2,087	△4,427	64	3,100	824	3,405
法人税・住民税及び事業税	44	43	43	47	179	180
法人税等調整額	540	—	—	△228	311	1,362
四半期(当期)純利益 又は純損失(△)	1,502	△4,470	20	3,281	333	1,862

項 目	期 別		第 25 期 第 3 四半期 H27. 7. 1~9. 30	第 25 期 第 4 四半期 H27. 10. 1~12. 31	当期累計 H27. 1. 1~ 12. 31	前年同期累計 H26. 1. 1~12. 31
	第 25 期 第 1 四半期 H27. 1. 1~3. 31	第 25 期 第 2 四半期 H27. 4. 1~6. 30				
期 中 平 均 株 式 数	2,025 株	1,464 株	1,417 株	1,417 株	1,579 株	2,025 株
1 株 当 たり 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益 又 は 純 損 失 (△)	742 円 08 銭	△3,053 円 91 銭	14 円 68 銭	2,315 円 46 銭	211 円 37 銭	919 円 71 銭

注) 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

期 別 事業の種類	第 25 期 第 1 四半期 H27. 1. 1~3. 31	第 25 期 第 2 四半期 H27. 4. 1~6. 30	第 25 期 第 3 四半期 H27. 7. 1~9. 30	第 25 期 第 4 四半期 H27. 10. 1~12. 31	当期累計 H27. 1. 1~12. 31	前年同期累計 H26. 1. 1~12. 31
調 査 ・ 出 版 事 業	24,197	17,249	23,189	22,898	87,535	104,268
合 計	24,197	17,249	23,189	22,898	87,535	104,268

## (3) 貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	第 24 期末 H26. 12. 31	第 25 期 第 1 四半期 H27. 3. 31	第 25 期 第 2 四半期 H27. 6. 30	第 25 期 第 3 四半期 H27. 9. 30	第 25 期 第 4 四半期 H27. 12. 31
(資産の部)					
I 流 動 資 産					
1. 現 金 及 び 預 金	96,283	89,143	61,504	59,228	59,237
2. 売 掛 金	7,914	13,524	9,860	9,246	12,823
3. 製 品	93	—	—	—	—
4. 貯 蔵 品	87	133	110	53	55
5. 前 払 費 用	1,468	1,501	1,138	1,468	1,447
6. 仮 払 税 金	—	1	1	3	3
7. 短期繰延税金資産	540	—	—	—	343
8. 貸 倒 引 当 金	△47	△47	△47	△47	△76
9. そ の 他	12	—	—	—	—
流 動 資 産 合 計	106,353	104,257	72,568	69,952	73,833
II 固 定 資 産					
1. 有 形 固 定 資 産					
(1) 工 具 器 具 備 品	2,642	2,549	2,211	1,838	1,483
有 形 固 定 資 産 合 計	2,642	2,549	2,211	1,838	1,483
2. 無 形 固 定 資 産					
(1) 電 話 加 入 権	424	424	424	424	424
無 形 固 定 資 産 合 計	424	424	424	424	424
3. 投 資 そ の 他 の 資 産					
(1) 敷 金 ・ 保 証 金	2,379	2,379	2,379	2,379	2,379
(2) 長 期 繰 延 税 金 資 産	534	534	534	534	420
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	2,914	2,914	2,914	2,914	2,799
固 定 資 産 合 計	5,980	5,888	5,550	5,177	4,707
資 産 合 計	112,333	110,145	78,118	75,129	78,540

期 別 科 目	第 24 期末	第 25 期	第 25 期	第 25 期	第 25 期
	H26. 12. 31	第 1 四半期 H27. 3. 31	第 2 四半期 H27. 6. 30	第 3 四半期 H27. 9. 30	第 4 四半期 H27. 12. 31
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 買掛金	364	—	—	—	—
2. 未払金	256	260	245	326	398
3. 未払費用	2,667	1,713	1,712	1,727	2,438
4. 未払法人税等	179	44	88	131	179
5. 未払消費税等	3,595	1,535	1,208	1,337	1,451
6. 預り金	2,315	1,116	4,367	1,195	1,694
7. 未払配当金	0	0	0	0	—
8. 賞与引当金	—	1,017	1,420	1,314	—
流動負債合計	9,378	5,687	9,042	6,033	6,162
負債合計	9,378	5,687	9,042	6,033	6,162
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000
2. 資本剰余金 資本準備金	632	632	632	632	632
資本剰余金合計	632	632	632	632	632
3. 利益剰余金					
(1)利益準備金	12,618	12,618	12,618	12,618	12,618
(2)その他利益剰余金					
別途積立金	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
繰越利益剰余金	21,705	23,208	18,737	18,757	22,039
利益剰余金合計	49,323	50,826	46,355	46,375	49,657
自己株	—	—	△30,910	△30,910	△30,910
株主資本合計	102,955	104,458	69,076	69,096	72,378
純資産合計	102,955	104,458	69,076	69,096	72,378
負債純資産合計	112,333	110,145	78,118	75,129	78,540

項 目	第 24 期末	第 25 期	第 25 期	第 25 期	第 25 期
	H26. 12. 31	第 1 四半期末 H27. 3. 31	第 2 四半期末 H27. 6. 30	第 3 四半期末 H27. 9. 30	第 4 四半期末 H27. 12. 31
発行済株式総数	2,025 株	2,025 株	2,025 株	2,025 株	2,025 株
1 株 当 た り 純 資 産 額	50,842 円 13 銭	51,584 円 21 銭	48,748 円 33 銭	48,762 円 67 銭	51,078 円 58 銭

(注) 第 25 期第 2、第 3、第 4 四半期末株式総数は、自己株式 608 株を含みます。

## (4) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

項 目	株主資本							株 主 資 本 合 計
	資本金	資 本 剰 余 金	利益剰余金				自己株式	
			利 益 準 備 金	その他利益剰余金		利 益 剰 余 金 合 計		
				別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金			
平成 27 年 1 月 1 日残高	53,000	632	12,618	15,000	21,705	49,323	—	102,955
第 1 四半期中の変動額								
第 1 四半期純利益	—	—	—	—	1,502	1,502	—	1,502
第 1 四半期中変動額合計	—	—	—	—	1,502	1,502	—	1,502
平成 27 年 3 月 31 日残高	53,000	632	12,618	15,000	23,208	50,826	—	104,458
第 2 四半期中の変動額								
第 2 四半期純損失 (△)	—	—	—	—	△4,470	△4,470	—	△4,470
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	△30,910	△30,910
第 2 四半期中変動額合計	—	—	—	—	△4,470	△4,470	△30,910	△35,380
平成 27 年 6 月 30 日残高	53,000	632	12,618	15,000	18,737	33,737	△30,910	69,076
第 3 四半期中の変動額								
第 3 四半期純利益	—	—	—	—	20	20	—	20
第 3 四半期中変動額合計	—	—	—	—	20	20	—	20
平成 27 年 9 月 30 日残高	53,000	632	12,618	15,000	18,757	33,757	△30,910	69,096
第 4 四半期中の変動額								
第 4 四半期純利益	—	—	—	—	3,281	3,281	—	3,281
第 4 四半期中変動額合計	—	—	—	—	3,281	3,281	—	3,281
平成 27 年 12 月 31 日残高	53,000	632	12,618	15,000	22,039	49,657	△30,910	72,378

## (5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5 経理の状況 (4)個別注記表 ①重要な会計方針に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- |  |
|--|
| <p>1. 固定資産の減価償却の方法<br/>各四半期の減価償却費は、年間発生見積額の 1/4 に相当する金額を計上しております。</p> <p>2. 消費税等の会計処理<br/>仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ流動負債の未払消費税等として、または還付金額を流動資産の未収還付税として表示しております。</p> |
|--|

なお、当第 4 四半期の貸借対照表及び損益計算書並びに株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

## (6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

## II 第25期第4四半期（平成27年10月1日から平成27年12月31日まで）の業績の概況

平成27年10-12月の国内景気は、中国経済の減速と個人消費の低迷からGDP前年同期比、年率換算1.4%減（速報値）となりました。2015年（暦年）で2回目のマイナスで、GDPは一進一退を繰り返しており、日本経済は本格的な地力回復には至っていないと言えます。

当社のドメインとするICT分野においては、当社試算で横這いです。一部金融機関の新規サービス対応のシステム開発や、一部大手製造業者での今まで延伸していたシステムの統合・再構築などが前四半期から継続していますが、全体的には更新需要が中心です。更に、クラウドサービスのトレンドが顕著で、案件規模が小型化しています。

当社においては、第1四半期から第3四半期まで売上の二桁減少が続いていましたが、当四半期によりやっと底打ちし、売上22,898千円、前年同期比2.7%増と増加に転じました。年間決算が決まる最終四半期ということで危機バネが働いたことが要因です。

これを事業別にみますと、自社企画資料の売上についてはほぼ横這いでした。自社企画資料の制作タイトル数が年間21本に対して、当四半期で7本と多く、新規企画資料1タイトル、4年振りのリバイバル資料が1タイトルあり、売上に貢献しました。

一方、受託調査の売上については43.0%増と大幅に伸びました。ただし、前年同期が68.9%の大幅減少で、その反動からくるものでした。売上としては2015年の各四半期の中で最も小さな規模です。小型案件が多く、総売上全体を押し上げる牽引力にはなりませんでした。

利益につきましては、営業利益3,129千円（前年同期営業損失695千円）、経常利益3,100千円（前年同期経常損失1,399千円）、四半期純利益3,281千円（前年同期純損失2,731千円）と全て黒字決算となりました。黒字決算の要因は冬賞与原資削減と代表取締役の年俸カットによるものです。

## III 第25期通期の売上高及び利益の予測について

割愛いたします。

## IV 資金及び借入金の状況

### (1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科 目	期 別	第25期	第25期	第25期	第25期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
	H27.1.1~3.31	H27.4.1~6.30	H27.7.1~9.30	H27.10.1~12.31	
現金及び預金の増減額	△7,139	△27,638	△2,276	9	
現金及び預金の四半期首残高	96,283	89,143	61,504	59,228	
現金及び預金の四半期末残高	89,143	61,504	59,228	59,237	

(主な増減理由)

売掛金の増加による減少	△3,577千円
税引前当期純利益の計上による増加	3,100千円
未払費用の増加による増加	711千円
預り金の増加による増加	498千円
その他の減少	△723千円
合計	9千円

(2) 短期借入金の増減  
該当事項はありません。

(3) 長期借入金の増減  
該当事項はありません。

V その他  
該当事項はありません。